

 学校だより 7月号 令和7年7月1日発行	朝霞市立朝霞第一中学校 〒351-0013朝霞市膝折2-31 TEL: 048-461-0076 FAX: 048-467-4741 E-mail: lchuu@asaka-s.ed.jp
目指す学校像 希望を胸に未来へ前進する学校	



陰徳を積む



校長 唐松 善人

私は、以前、勤務していた中学校で剣道部の顧問をしていたことがあります。当時は全国大会や関東大会に出場して勝つことを目標にし、生徒に日々激しい練習を課していました。そして、生徒が努力してくれた結果、県大会で3連覇をし、全国大会に2回、関東大会に2回出場することができました。

しかし、全国大会や関東大会には各都道府県の大会を勝ち抜いてきた強い選手やチームが出場するため、試合で相手に勝つということは極めて難しいことです。そこで、私は顧問として、日頃から生徒に「陰徳を積む」ということを話して実践するように求めています。

「陰徳を積む」とは、人が見ていないところで、良い行いを重ねていくということです。例えば、ゴミが落ちていたら自分から進んで拾う、トイレが汚れていたら自分から進んで掃除をする、靴が揃っていないから自分から進んで揃えるなど。人が見ていないところで、いかに行動できるかが大切なのです。日頃からこのような生活を送っていれば、いざ試合の中で競っても、自分の心の中に安定した状態が生まれているので負ける気がしない。そこまでして負けたのなら相手の方が上であり、少なくとも自分自身には負けていないのではないかと生徒に話してきました。

大会の結果は、全国大会では男子個人戦ベスト16、関東大会では男子個人戦優勝、男子団体戦準優勝でした。試合で勝てたことも嬉しかったのですが、武道場や更衣室、トイレ等がとても綺麗になったこと、さらには、こうした雰囲気は剣道部だけでなく、学校全体に広がっていったことがそれ以上に嬉しかったです。

さて、本校でも、清掃活動の時間以外にも人知れずゴミを拾っている生徒や、授業後の後片付けを黙々と丁寧にやっている生徒が多く見受けられます。とても立派なことです。日々の教育活動を通して、人が見ていても、見ていなくても、しっかりと行動できる力を本校の生徒に育てていきたいと考えます。

